

## 核兵器がない世界への始まり



核兵器廃絶への前進を喜ぶとともに、次の一步への決意を語りました

核兵器の開発から使用までを全面的に禁止した核兵器禁止条約が、1月22日に発効したことを受け、翌23日に発効記念行事「核なき世界へスタート!」を開催。東京・広島・長崎の各会場をオンラインで結び、ネットで配信しました。

長崎会場の長崎原爆資料館では、「いかそう核兵器禁止条約」をテーマに、長崎市長とジャパネットたかた創業者の高田明氏が対談。対談の中で高田氏は、「核兵器禁止条約を知らない人がいない世界をつくらせていくことが次のステップ」と話し、市長は、「市民の皆さ

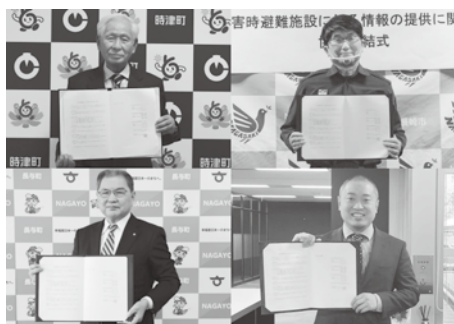


んと、平和の新しい伝え方のチャレンジをしていきたい」と応じました。さらに、ライブ配信以外の長崎独自のプログラムとして、「ナガサキ・ユース代表団」9期生の大園さんは、「条約発効が『核兵器による安全保障は正しいのか』と考えるきっかけとなれば」と話しました。当日のライブ配信や独自プログラムの様子は、市ホームページや核兵器廃絶日本NGO連絡会ホームページ(右QRコードから)でご覧いただけます。



■問い合わせ 平和推進課(☎844-9923)

## スマホやパソコンで避難所の混雑状況が一目瞭然に



分散避難ができる環境づくりをすすめていきます

1月19日、株式会社バカンと「災害時避難施設に係る情報の提供に関する協定」を締結。締結式は、大規模災害時などに指定避難所の相互利用が可能な、長与町・時津町と合同で開催。同社との協定は、県内で初めてで全国では20番目。協定は、避難所の開設・混雑状況をスマートフォンやパソコンでリアルタイムに確認できるシステムを、同社が無償で提供するものです。対象は、3市町の全ての指定避難所。避難所に適正な人数が避難できるようになり、新型コロナウイルス感染防止の「3密」回避も期待されます。



スマートフォン表示イメージ図

避難所開設時には、市ホームページのトップ画面にURLと右のQRコードを掲載。スマートフォンやパソコンでシステムにアクセスしたあと、避難したい指定避難所を地図上でタップすると、避難所の状況が表示されます。



閉鎖時は「利用停止中」、開設時は「空いています」「やや混雑」「混雑」「満」の4段階で表示。その他、避難所の住所や災害耐性などを確認できます。今後、避難の際には、ぜひご活用ください。

■問い合わせ 防災危機管理室(☎822-0480)